

【一般向け説明会】

8/5 創遊館(12人)

8/6 西部公民館(8人)

8/8 北部公民館(3人)

	場所	質問内容	回答
10	創遊館 (8/6)	(人口の推移をみて)人口は今後も減少していく。町としては今後も朝日町として単独で維持していく考えなのか。	その考えです。
11		教科担任制の導入により、学級担任がいなくなるのか。	そうではありません。 中学校のような教科ごとの先生による授業を5年生から採用したいと考えています(＝教科担任制)が、従来通り学級担任は配置します。
12		特に中学校においては担任の先生のほか、部活動の先生についても重要だ。部活動はどうなるか。	部活動は5年生から体験できるような仕組みにしたいと考えています。教員の働き方改革、子どもたちの部活動改革の動向と密接にかかわりますので、そうした動向を注視しながらより良い制度にしていきます。
13		先週の保護者説明会ではどんな意見が出されたか。	4、5、7の質疑応答事例を紹介
14		計画や事業に関する感触、肌感覚はどんな感じか。	説明会への出席者自体は少ないものの、保護者の反応は悪くないと感じています。概ね理解を得られているように感じています。

15		(説明会の出席者が少ないことを受け、)情報発信が足りないのではないかと。パブリックコメントについても、先日のお知らせ板に掲載されたが訴求力がない。LINEによる一斉周知をしてはどうか。	説明会については、お知らせ板のほか、小中学生の保護者にはさくらメールにて周知しました。また未就学児の保護者に対しても全対象者に文書で通知したところです。 パブリックコメントのLINE周知については実施いたします。
16		今後実施する施設アンケートについて、基本方針策定のため2年前に実施したアンケートでは、対象者を無作為抽出で選んだが、回答率が3割程度だった。このことを踏まえ、今回は誰でも回答できるようにしてほしい。	対象者を無作為抽出にすると前回と同じような回答率になることが想定されます。よって、今回は無作為抽出せず、誰でも回答できるようにしたいと考えています。 このほか、創遊館や町民体育館等の教育施設利用者に直接対面でアンケートを依頼することも検討しています。
17	西部公民館 (8/6)	以前、廃校を利用した地域おこしに携わった。朝日町でも上郷小や立木小を拠点にして、各地域の皆さんと交流した。そのほか、山辺町の作谷沢地区(作谷沢小中学校)にも長年関わってきた。 人口が減っていくことを前提とした計画は悲しい。学校がなくなると、地域行事やお祭りなどいろいろなことがうまくいなくなる。何とか前向きに考えていきたい。自分にできることがあれば協力したい。	全国的に見れば、教育に特色を見出し、移住者を増やしている市町村もあります。当町も義務教育学校の設置によって教育の魅力を高め、ぜひそうなれるように努めたいと思います。
18	北部公民館 (8/8)	義務教育学校になることにより、町内全体で教職員数はどのくらい減るのか。	教員数は、現在の宮宿小と朝日中を合わせた数が基本となります。したがって、現在の西五百川小と大谷小の教員数がそのまま減少することになります。 校長は一人ですが、教頭は3人配置される予定です。

19		技能教科の教員は全員配置してもらえるのか。	現在の朝日中と同様、9 教科すべての教員が配置されるわけではありません。不足する分はおそらく他校と兼任の教員や非常勤の教員でカバーすることになると思います。 ただし、義務教育学校の特性を生かし、小学校(1～6年生)の教員で教えられる場合は、そうした対応も可能です。
20		通学方法はどうか。	基本的には宮宿小と朝日中の通学方法をベースに考えています。現在北部地区は山交バス通学ですが、小学 1 年生からこれが可能かどうか心配な面もあります。詳細は今後検討していきます。
21		朝日町の学校施設の歴史を振り返ると、新たな校舎を建設してから 20～30 年程度で閉校となった学校がとても多い。これに加え、今度は大谷小学校も築 30 年未満で閉校を迎えようとしている。未来の児童数はある程度見通せるはずなのに、どうしてこんな状況になったのか、一町民として腹立たしく思える。予算の使い方をもっと考えてほしい。その予算をほかの事業に使えていれば、もっと豊かな町で、幸せな暮らしを送れたかもしれない。もっと真剣にまちづくりに取り組んでほしい。	学校建設には大きなお金がかかります。国の補助金がたくさん出るとはいえ、その原資も税金です。それゆえ、すでに閉校した学校をはじめ、大谷小がもったいないというのは当然理解しています。大谷小をはじめとした、今ある小学校の利活用方法については、今年度中に検討組織を立ち上げたいと考えています。役場だけではなく、地域の皆さんにも考えてもらいたいと思っています。 今回の義務教育学校の整備は、今まで行ってきた統合ではなく、全く新しい学校の創設になります。現校舎の利活用と同様、役場だけではなく町民の皆さんの理解を得ながら事業を進めてまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。